



緑のふるさと協力隊
桃井 侯樹 No.1

「日本を元気にしたい！」

平成25年4月11日付けで第20期緑のふるさと協力隊として、福岡県築上町に着任した桃井侯樹(ももいのこうき)です。出身は宮城県仙台市、年齢は20歳、若輩者です。趣味は身体を動かすことですが、はつきりいって、これといった趣



味はありません。しかし、外で目いっぱい太陽を浴びると幸せを感じます。

今回、この福岡県築上町に来させていただいたのは、地域の現状を肌で感じたいという思いからです。私には、「日本をアツくしたい！」という大きな夢があります。というのも、2011年3月11日に発生した東日本大震災で、大きな被害を受けた地域に2011年6月から2013年3月までの間、震災復興支援活動をさせていたできてきました。ボランティア活動から始まって、少しずつ地域の方々と信頼関係を築くという経験をさせていただき、超過疎地域で手の打ちようがないイメージがあつた場所ですが、十分に魅力的で「お金」ではない「幸せ」があることに気づきました。全国各地の疲弊した地域にも、必ず魅力がある。それぞれの地域がそれぞれの魅力を発信する。それぞれの地域が切磋琢磨して、さらに発展を目指す。こうしていくことで、日本が元気になっていくのではないかと考えています。

そのために、どうアプローチしていけばよいかというのがさらに深く考えなくてはいけない。第一歩としては、まず、地域にしっかり入って、現状を見極めなくてはいけないと考え、現在に至りません。話は変わりますが、こちらに着

任する前にイメージしていた「築上町」のイメージは、一軒一軒の距離が、かなり離れていて、道路は土、コンビニもないような所のイメージでした。ところが実際は、普通に生活するには何も困らないような所で逆にびっくりしています。山も海も川もあって、本当によいところですね。特に楽しみにしていることは、お祭り、神楽、そして地域の方々とお話です。お祭りは、パンフレットを軽く見ただけでも15以上あるということだったので、血が滾ります。

神楽に関しても、「日本人」として「日本文化」を体験させていただけるということにわくわくしています。東北出身で、大阪以南には来たことがない私は、九州の言葉に早速メロメロです。「ち」を多用する言葉はかわいさと格好良さを兼ね備えています。言葉を教えていただきながら、築上町の歴史、文化、地域の面白い話などをたくさん聞かせていただきたいと思っています。

自分ができないことは、できるように努力し、できることはさらに磨きをかけたいと思います。とにかく一年間、どっぷりと築上町に浸かり、自分らしく築上町に貢献できるよう、音立てちがなばります！気軽にどんなことでもお願ひして欲しいです！皆様、よろしくお願ひいたしますねー！

平成25年度福岡県立英彦山青年の家主催事業
英彦山新緑トレッキング～新緑の英彦山で心と体をリフレッシュ～

主催 福岡県教育委員会、福岡県立英彦山青年の家
期日 5月25日(土)～26日(日) 1泊2日
会場 福岡県立英彦山青年の家およびその周辺
申込 4月25日(木)より受付開始しています。
※英彦山青年の家に直接電話でお申込ください。

持参品 登山に適した服装、運動靴、帽子、軍手、着替え、タオル、上履き、雨ガッパ、水筒(お茶を提供しま

すので、必ずご準備ください)、懐中電灯、洗面用具(シャンプー、石鹸等)、健康保険証(写し可)
※参加費や参加対象はコースによって異なりますので、ご確認ください。(高校生以下保護者同伴)
※26日(日)のトレッキングのみの参加もできます。
※当日参加の場合、弁当・お茶は各自ご持参ください。
申込・問い合わせ 福岡県立英彦山青年の家
0947(85)0101